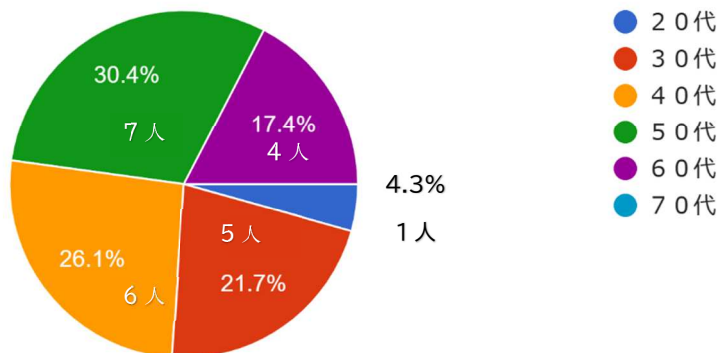


## 5, 絆研修⑧-1 参加者アンケートまとめ

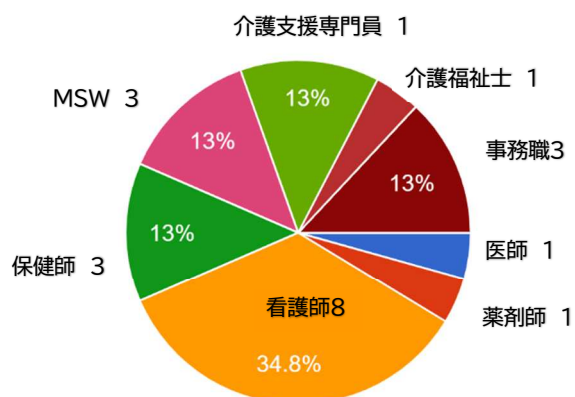
あなたについて：年代

23件の回答



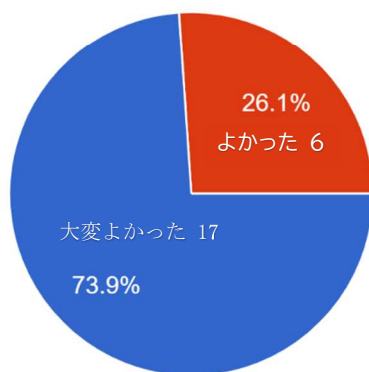
あなたについて：職種

23件の回答



研修内容はいかがでしたか

23件の回答



## \*前問(研修内容)について、その理由

- ・久しぶりの対面で楽しかった。
- ・住民のために力を合わせることを意識的に取り組めそうだから。
- ・多職種との連携等、改めて確認し多くのこと学ぶ機会となった。お互いの役割を知り、その役割をしっかりと活かしたカンファレンスが住民の方を中心にしたつながりになる。
- ・様々な職種、他施設の方とグループワークができた事。
- ・他職種連携の難しさを改めて確認することができ、今回の研修で学んだ事を活かしていきたいと思えた為。
- ・久々の集合研修で、実際に顔を合わせてグループワークを行い、色々な職種の人の意見を聞いたり、退院支援について学べたから。
- ・他職種の目線に立っての勉強会はとても学びになった
- ・たくさんの方が参加しておられ、グループワークも色々な職種の方と行うことができたから。
- ・大変興味深く分かりやすかったが、時間が足りなかった。
- ・他職種がグループワークで色々な意見を出し合えた事。
- ・プレゼンがわかりやすかった。
- ・退院支援に関わる具体的な流れや、社会資源の情報などなかなか知ることのできなかった事を疑似体験することができ、色々な視点から考える機会であった。また、他職種からの様々な情報を端的にまとめる事の大切さ・大変さを感じられた。
- ・顔を見ながら多職種の意見を聞くことができた。
- ・退院前 Cf を進行する職種として、流れ(例)を参照させていただくことができた。
- ・他施設の多職種の方々と交流ができたから。施設ごとに概念の微細な違いがあることに気づいたから。
- ・3人の講師の方が皆分かりやすく話して下さり理解が深まった。グループワークも苦手ですが、楽しく参加できた。
- ・具体的なマニュアルが資料に記載されていた。理解が深まった。
- ・マスク着用ではあったが、対面でのやり取りが行えたこと。
- ・薬局事務職の場合、基本的に退院後しか関わらず退院前のことはわからないので勉強になった。

## \*今回の研修に参加しての気づき

- ・みんなが思う気持ちは同じであること
- ・コミュニケーションのスキルアップが求められる。ご本人様、ご家族様等への配慮も様々な視点で大事。
- ・やはり、他職種の役割や仕事内容を広く浅く知識として知っておくこと。
- ・連携によって、今まで知らない知識を習得する事ができる。
- ・患者やその家族の希望に沿った退院支援を行うためには、各専門職の役割を理解しながら、多職種でカンファレンスを行い、連携していくことが必要。

- ・司会者に求められるもの。
- ・それぞれの職種によって患者さんを見ている視点が異なること。
- ・退院前カンファレンスは何度か参加しているが、同じ流れで行うことにより、準備もしやすくなると感じた。また、参加者も参加しやすくなると思った。
- ・ご本人、ご家族への配慮(排泄面や認知面など)ができていたか、自分の対応について振りかえることもできた。お気持ちを配慮した上でどのように関係機関に伝達していくのか、工夫が必要だと思った。
- ・色々な職種の方々の支え、関わりがあり医療介護が受けられていること。カンファレンスに臨む姿勢、どんな会議でもそうだが事前準備が必要で考えをまとめて会議に臨むことで有意義で活発な議論がなされ、課題解決や答えが見いだせるということ。
- ・多職種連携の重要性は分かっていたつもりだが、自職種が行うべきことや、多職種の仕事内容に興味や理解を持つことでその重要性にあたらめて気づけたと思う。
- ・業務上、退院支援のカンファレンスに参加したり、サービス担当者会議に参加する機会はあるが、専門性のところはどうしてもお任せ部分があったなーと反省することもあった。
- ・ご利用者、家族目線で聞いた時にわかりやすく言語化し伝えていく事が大事。
- ・しばらく在宅から離れていたため、地域包括ケアの基本的な内容は改めて学ぶことができた。
- ・他施設ごと(医療機関)の微妙な考え方の違いを理解していきたい。ロールプレイで職種を変えることでフラットな意見がたくさん出て興味深くおもしろかったです。
- ・多くの参加者があり驚きました。東部に多職種連携の理解者が増えている事に心強さを感じました。
- ・在宅支援をする人にとっては、退院前カンファレンスで特に本人の医療処置などについての情報を伝える必要があると感じた。
- ・人はそれぞれであり、それぞれだから分かり合えないし、分かり合えると心地良い。
- ・議論が活発でないグループであったため、ファシリテーターは大変だっただろうな。
- ・カンファレンスなど他職種連携にあたっては、多くの方の貴重な時間をいただいている。加えて、患者さんご自身やご家族などが置いてけぼりにならないためにも、事前に見通しをたてておく、できる限り話を通しておくなど、できるだけ時間を短縮できるように、かつできるだけその場で伝えないといけない人数を減らしておく工夫が大切と感じた。

### \*今後取り組みたいこと

- ・情報の管理を基本に様々な機関の考え方や方針などを丁寧に伺っていきたい。
- ・様々な専門職の方と関わる場面もありますので、事前準備をして望みたいと思う。
- ・このシリーズの研修を終了すること。
- ・訪問看護の研修を受けること。
- ・会議の進め方、配慮しなければならない事が改めて確認できたので実施していけたらと思う。
- ・それぞれの専門職の見解に耳を傾け、患者やその家族の思いや希望に寄り添い、納得、満足してもらえるような退院支援。

- ・患者家族のためのカンファレンスに取り組みたい。
- ・今回の研修内容を踏まえて、在宅分野でのチーム医療に取り組みたい。
- ・やはり、会議の事前準備をしっかりとっておかなければいけないと痛感し、実践に活かしていこうと思った。
- ・カンファレンスの在り方を当院内でも共有し、短時間で簡潔にできればと思う。
- ・取り組みとは別になりますが、多職種の有益な情報提供がいつでもできるよう各事業所や行政等、社会資源の情報交換、紹介など連携をとっていく。
- ・事前に何について話していただくかを議事を伝え、退院前 Cf 参加者に要約して話していただくようスムーズな進行、全員が納得していただける Cf にできるよう努めたい。
- ・友人の内科医や歯科医に参加を呼び掛けたいです。
- ・退院前カンファレンス前に、どの事業所がどのような役割を担うのかを把握して、情報提供できるようにする。
- ・これからも他職種と交流できる研修に参加し、知識として浅いと感じている部分を少しでも埋められたらと思う。
- ・専門職の方や患者さん、患者さんのご家族など複数名でお話をするときに、きちんと皆に伝わっているか、誰も不安等抱いておられないか、事務だからこそその目線もあると思うので、きちんと配慮できるよう心がけていきたい。

### **\*研修全体をとおしての感想**

- ・交流ができよかった。
- ・知らないことを知り、学ぶことでさらなる刺激を受けて次につながると思う。資料等情報提供も含め、いい研修の機会をいただき感謝申し上げます。スタッフの皆様、ご準備等大変お世話になりました。
- ・これだけたくさんの方々地域医療に関心を持ち、携わっていることを知る、具体的な機会になった。私は今後今までの看護師としての経験を生かして訪問看護をやりたいと思っているので、とてもよい刺激となった。
- ・有意義な研修を受ける事ができ良かったです。
- ・久々の集合研修とグループワークで緊張しましたが、ファシリテーターのお陰で和気藹々と楽しく学べた。ありがとうございました。
- ・意義のある研修となりましたありがとうございます
- ・とても学び気づきが多いとともに、リアルでの開催の良さをあらためて感じた。
- ・次回も楽しみです
- ・楽しく学ぶことができました。第2回、3回も参加し、学びを深めたり、新しい関係機関の方とも顔見知りになれるよう頑張りたいと思う。
- ・久しぶりの対面で準備が大変だったと思います。お世話いただいた皆様に感謝申し上げます。次回楽しみにしております。

- ・研修はとても楽しく、時間が足りなかった。グループワークもひとつひとつじっくりと取り組めたら理解も深まると感じた。時間配分を考えなくてはいけないことや事前準備が重要になることは勉強になった。
- ・毎回、参加者のグループ編集の為、いろんな意見が聞かれるので勉強になる。
- ・みなさんが各々でよくして行きたいという気持ちがあり、とても感動した。また、自分自身も皆さんのように成長できればと楽しみが増えた。ありがとうございました。
- ・ワークでの発言が聞き取り難いことが多かった。
- ・絆研修の内容が日本の地域包括の風土になったらいいと感じた。
- ・とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・いろいろな人と会うことで、自分自身の修練にも役立つと感じた。
- ・大変勉強になり、是非残りの2回も参加させていただきたいと思った。ありがとうございました。